

▼新しい住宅地・淀川リバーサイドタウンの利便をはかる——飛翔橋(昭和59年完成)



▼南港遊歩道にかかる——折鶴橋(昭和56年完成)



▼買物の人々で賑わう——御幸橋(昭和59年完成)



▲通勤・通学・買物の貴重な橋——六軒家橋(昭和57年完成)

▼ターミナルを結ぶ——阿倍野歩道橋(昭和40年完成)



守る

橋は私達の日常のくらしを豊かにする重要な施設である。通勤・通学・買物など日頃の生活の一部として利用され親しまれている。橋は、災害時の避難路としても大切である。そして、交通事故から人々の安全を守るうえからも、なくてはならないものとなっている。



▲市民の安全を守る歩道橋——鷺州歩道橋(昭和44年完成)



▲地域を結ぶ生活道路の橋——平野川分水路寿橋付近

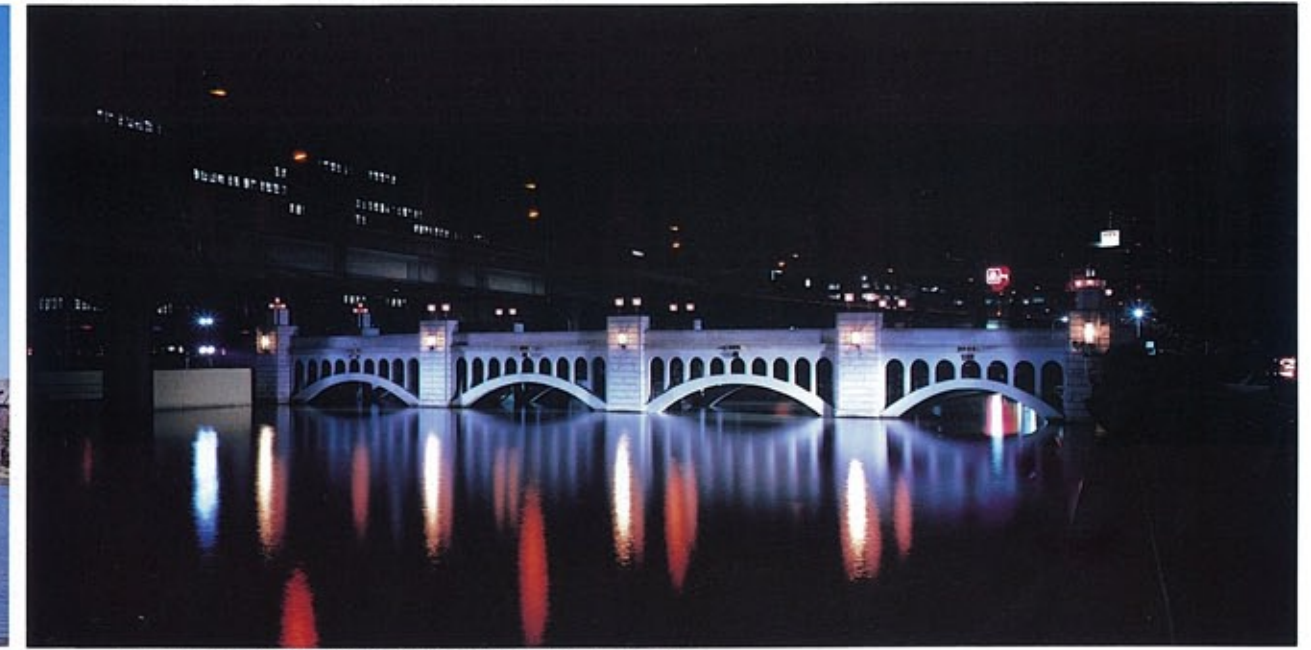
▼淀川にリズミカルな姿を映す——十三大橋(昭和7年完成)



▼軽快な自転車道の橋——川崎橋(昭和53年完成)



▼ライトアップで夜景も楽しめる——水晶橋(昭和4年完成、54年改装)



橋は都市景観を形づくる大切な要素となっている。
水の都といわれる大阪では橋の存在はたいへん重要で、
川の風景と調和し、街のランドマークとなって、人々に親しまれてきた。
橋は見て美しいものであると同時に渡って楽しいものでなければならない。
周辺の環境と調和し、快適に渡ることができる橋は、
都市に生活する人々の心を豊かにする。

▼銀橋と愛称される重厚な3ヒンジアーチ——桜宮橋(昭和5年完成)



▲ライオン石像、華麗な飾塔などが中之島を彩る
——難波橋(大正4年完成、昭和50年改修)



▲現役では、大阪で最も古い——本町橋(大正2年完成、昭和57年改修)



▲連続感が強調されたコンクリートの橋——春風橋(昭和56年完成)

観る